

# ゆりかご 第20号

発行者：小千谷市第2地区民生委員児童委員協議会 会長 小川恭男

## 《一斉改選》

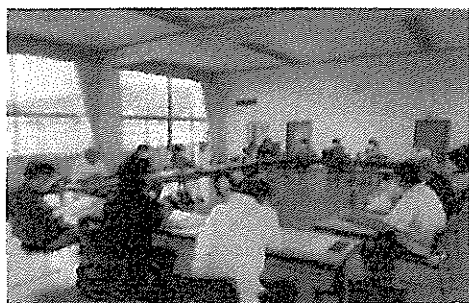
第二地区民生委員児童委員協議会 副会長 石原 十八

昨年民生委員児童委員が、全国一斉に改選され、全国では定数約24万人に対する欠員が1万5千人余りに、新潟県では欠員198人と深刻な状況でした。当市に於いては欠員なく定数78名が委嘱されましたが深刻な状況にはかわらないと思います。欠員の要因には、民生委員自体の高齢化、働くシニア層の増加を背景に、なりて不足が深刻化している状況です。民生委員は地域にとって安否確認や見守り、声かけと併せて体調管理、事故防止の注意喚起を促します。決して空白にできない大切な存在だと思います。第二地区では、小川恭男民児協会長筆頭に、6期目2名、5期目1名、4期目1名、3期目7名、2期目5名、1期目2名と18名の方が活動しています。まだまだ少子高齢化は進むでしょうが、安心して暮らせる地域を目指し活動を繋げていきたいと思っています。

## 【令和5年度活動状況】

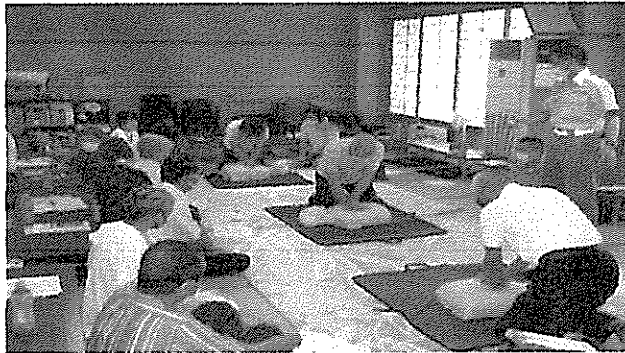


東小千谷中学校訪問 授業参観・各種大会出場結団式



介護保険制度活用について研修

- ◎ 毎月の定例会に於いて担当地区情報交換
- ◎ 研 修 ・ひきこもりと寄り所
  - 講師 フォルトネット小千谷
  - ・介護保険制度活用について
    - 講師 地域包括支援センター
  - ・救急救命
    - 講師 小千谷消防署
  - ・除雪援助等
    - 市役所担当課
  - ・認知症者との関わりについて
    - 講師 中子の森担当者
- ◎ 小中学校訪問・幼稚園・保育園訪問
  - ・情報交換と施設見学
- ◎ 町内会長協議会との懇談会（地域支えあい）



救急救命講習



東山小学校訪問

## 【活動状況や感想】

### 民生委員としての活動状況

笹崎 謙一

約3年に及ぶ新型コロナ禍にあって、今年5月によりやく5類に移行し行動制限等が緩和されつつあります。普段はマスクを外すことが多くなりましたが、見守りに行くときはまだ外すことが出来ません。

マスクをしていると高齢者の皆さんに顔を思い出してもらえるのに少し時間がかかります、早くマスクなしでの対応が出来るように願っています。

認知症が始まっているかなと思われる二人世帯の見守りに行った際におばあちゃんの目の回りがひどいあざになっていました。自転車で転んだとのことで、包括に連絡しようとしたのですが、土曜日で対応できませんでした。月曜日に包括に連絡して対応して頂きましたが、もっと早く何とか出来なかったのかと反省している次第です。

## 民生委員児童委員になって

井佐 直美

初めは、民生委員児童委員はどんな活動をするのか不安でいっぱいでした。

7月に熱中症予防のチラシ配布の際、留守宅にチラシにちょっとしたメッセージを書いて置いて来ました。その日の夕方、電話をもらい「実は先日、熱中症で入院して来ました留守にしているごめんね」と言う内容でした。わざわざ電話を貰えるとは思っていませんでしたので嬉しかったです。

初めて民生委員になって自覚を持てた気がしました。また定例会では一生懸命活動されている先輩方の話を聞く事ができ勉強になります。これからも宜しくお願い致します。

## 2期目に入って

蕪澤 道行

後任をさがすことが出来ず2期目にはいりました。定例会や各種研修会に参加させてもらい個人的にはある程度は成長したかなと思っています。

前よりは、いろんな相談や要望なども寄せられ、民生委員としての関わり方について考えさせられることが多くなっています。

担当区域の一町内は、ついに高齢化率が60%を超えました。自治会関係、福祉関係、防災関係の組織、団体の役員選出（戸数を超えるほどの数がある）が難しかったのですが、さらにすすんできています。

私自身も大分減らすことが出来ましたが、まだ六つの役がきています。なんで断らないのとか何年も同じ役職に留まるのは弊害があるとの指摘もあり、そのとおりに思うのですが、そういう人ほど役は受けてくれない実態があり悩むところです。

地域住民からの個別の悩み、要望の内容によっては、地域の課題（例えば交通支援対策など）として考える必要があると思ひ、関係役員と協議の場を設けてもらうのですが相反する様々な意見があり、うまくとりまとめが出来ず力不足も感じています。

いずれにしても、人口減少、少子化、高齢化の課題に対応していくには、地域の力、支えあいが必要であり、民生委員の分をわきまえて取り組んでいきたいと思っています。

## 振り返って

間野 二三四

民生委員児童委員になったときは中越地震で2年半の避難所生活を経て長男夫婦孫二人と私での岩間木再建生活でした。首沢の川上さんからの引き継ぎも文章で、川上さん自身も千谷に引っ越していました。担当地域も様変わりして首沢5軒、荷頃10軒、岩間木19軒に減り仕事の行き帰り妙見の道路、横渡の崩れた岩盤の所も今は草木に覆われて風景も見慣れましたが、落ち着くまでには、10年以上かかりました。第2地区の委員方々の、まとまりの良さと助言に助けられています。今年70歳になり県外研修も始めて行きました。仕事も減らし、地域の皆様の手伝いをさせていただき寄り添いと、見守りを続けたいと思うこの頃です。これからも地域福祉に微力ながら貢献していきたいと思っています。